Aerohiveはこれまでの常識をひっくり返します

観点	これまでの常識	Aerohive	ベネフィット
数十台以上の 精密電波管理	無線LANコントローラ （WLC）	コントローラ不要 完全コントローラレス方式	導入時/拡張時に WLC容量検討不要 投資は台数に正比例 サーバの削減 大幅コスト削減
セキュア認証	高額な専用サーバ	APの内蔵機能で実現 プライベートPSK・内蔵Radius	
運用管理	サーバルームにオンサイト	安全なクラウドから リモート対応	現地訪問削減
メッシュ構成	推奨しない / 未対応	積極的に賢く活用	配線工事コスト削減
納期	1〜2ヶ月前後？	即納〜3週間前後	短期導入実現

Aerohive製品ラインナップ

Aerohiveなら想定外のコスト・時間・負担を避けられ安心です！

AP305C
802.11ax(Wi-Fi6)
対応モデル
屋内用

Dual 5GHz radio
内蔵アンテナ 2×2：2ストリーム
1G ports
BLE / USB / Zigbee
802.3af / PoE+
拡張されたキャパシティマネジメント
ソフトウェア定義のラジオ
シームレスな導入

AP410C
802.11ax(Wi-Fi6)
対応モデル
屋内用

Dual 5GHz radio
内蔵アンテナ
5GHz:4x4:4ストリーム
2.4GHz:2x2:2ストリーム
2.4GHz/5GHz/Sensor
2.5G ＋ 1G ports
BLE / USB / Zigbee
PoE+
拡張されたキャパシティマネジメント
ソフトウェア定義のラジオ
シームレスな導入

AP460C
802.11ax(Wi-Fi6)
対応モデル
屋外用（室内も利用可能）

運転温度：-40℃から60℃
環境：IP67
Dual 5GHz radio
内蔵アンテナ
5GHz:4x4:4ストリーム
2.4GHz:2x2:2ストリーム
2.4GHz/5GHz/Sensor
2.5G ＋ 1G ports
PoE+
拡張されたキャパシティマネジメント
ソフトウェア定義のラジオ
シームレスな導入

Aerohive社は2019年8月9日にExtreme Networks社に買収されました。製品・サービスは継続してサポートされています。

Sanko IB
INTELLIGENT BUILDING

株式会社Sanko IB
Sanko IB Co., Ltd.

〒105-0014 東京都港区芝1-5-9 住友不動産芝ビル2号 2F
https://www.sanko-ib.co.jp

2021 April. 7

ENTERPRISE Wi-Fi

あらゆる業種にマッチする

最先端クラウド対応無線LAN

〈 旧 Aerohive エアロハイブ 〉

完全コントローラレスとプライベートPSKで プロジェクトを成功に導きます

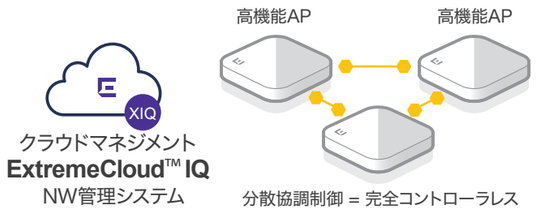
企業NWの構築において、「無線LANを導入するべきかどうか」という議論は過去のものとなり、今ではDXプロジェクトの推進の最初のテーマとして「無線LANを以前よりどう賢く、どの範囲まで使いこなすか」「最高品質な無線LAN環境をシンプルかつセキュアに構築し運用するには、どのメーカーを選択するべきか」ということが喫緊の課題となってきています。

無線LAN製品は、電波法、IEEE規格、WiFiアライアンスなどに準拠することが必須なため、**一見どのメーカーも同じに見え、結果として製品価格だけが基準となりがち**です。

SankoIBでは賢く無線LAN製品を選定する観点は、無線LANシステムを制御するアーキテクチャーと認証基盤や運用管理機能の多彩さにあると考えます。

そこで、プロジェクトを成功に導くための**無線LAN選定の5つのポイント**をご紹介します。

当資料は株式会社 SankoIB オリジナルコンテンツ(Extreme Networks 社レビュー済)です



POINT 1 完全コントローラレス

クラウドにもAPにもコントローラがありません

高額なコントローラは不要です。
だから予算は、APの台数に正比例。

限られた予算で数多くの場所に設置可能

POINT 2 クラウド対応

いつでも、どこからでも管理画面にアクセス可能

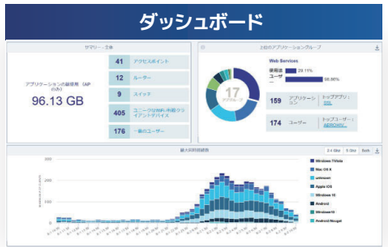
物理的な交換以外は全てリモート管理が可能。

ネットワークの管理などの業務負担を軽減

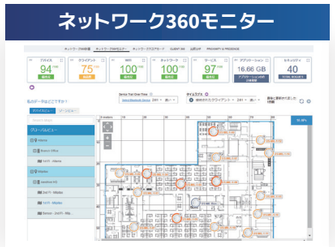
ハイパフォーマンスかつ安定したネットワーク

マシーンラーニング技術とAI技術の活用による見える化と問題解決の効率化を実現。
運用管理に必要な情報を1画面に集約。7つの重要指標を分かりやすく表示。（デバイス、クライアント、Wi-Fi、ネットワーク、サービス、アプリケーション、セキュリティ）

ダッシュボード



ネットワーク360モニター



クライアント360

POINT 3 Dual 5GHz

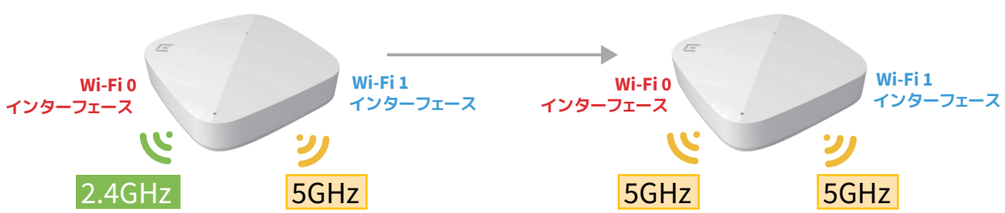
ハイパフォーマンスかつ安定したネットワーク

両方の無線インターフェースを5GHzに設定することができます。
すべてのクライアントの通信を5GHzにて利用することで安定的な通信ネットワークを提供します。
将来のアプリケーションの拡張・高機能化にも十分に対応可能。

電波干渉の心配から解放され、仕事に集中できます

Dual 5GHzとは？

施設内にたくさんのAPを設置する場合、利用可能なチャネルが少ない2.4GHz帯はチャネル間の干渉が多発し通信できなくなるため、Dual 5GHzが有効です。



POINT 4 利用状況の見える化

いつ、誰が、どこで、どんな使い方をしていたか

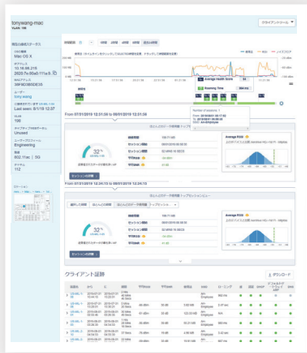
どの端末がどのAPに接続し、何のアプリケーションをどのくらい使用していたのかを管理画面で確認することが可能です。

会社全体の業務の質を上げる分析ツール

ネットワーク管理サービス「ExtremeCloud™ IQ」

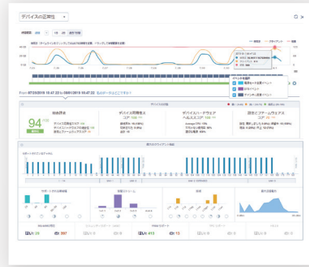
AP全体と個々の情報を個別に把握することが可能です。クライアント、アプリケーション、APなどの使用状況を人や時間、場所など様々な軸から見ることが可能です。
例えば、優秀なスタッフがどのようなアプリケーションをどのように使用しているかなどの分析することもでき、会社全体のレベルのボトムアップにも活用することができます。

クライアントの状況



アプリケーションの状況

デバイス（AP）の状況



POINT 5 プライベートPSK

ユーザーごとのアクセス認証

1つのSSIDに個人ごとやグループごとにそれぞれ異なるパスワード（PSKと同じ8文字以上のプライベートPSK）を設定し、セキュアな認証を実現します。
1つのSSIDに異なるユーザプロファイル（VLAN、Firewall設定、ユーザトラフィック設定、利用時間制限、帯域制限、QoS設定など）を設定できるため、SSIDを増やさずに無線LANを設計可能。
1つのAPに設定するSSIDの増加によるAPのパフォーマンス低下問題を解消。

ユーザごとにアクセス制限をすることでセキュリティも安心

PSKと802.1X認証の両方の長所を兼ね備えた画期的な認証方式です。
MAC認証を置き換える手段にもなります。

同じSSID	従業員用PPSK	ゲスト用PPSK
アクセス権限	全ての接続権限あり	インターネットのみ
アクセス時間	制限なし	9:00～18:00
アクセス制限	制限なし	3時間利用制限